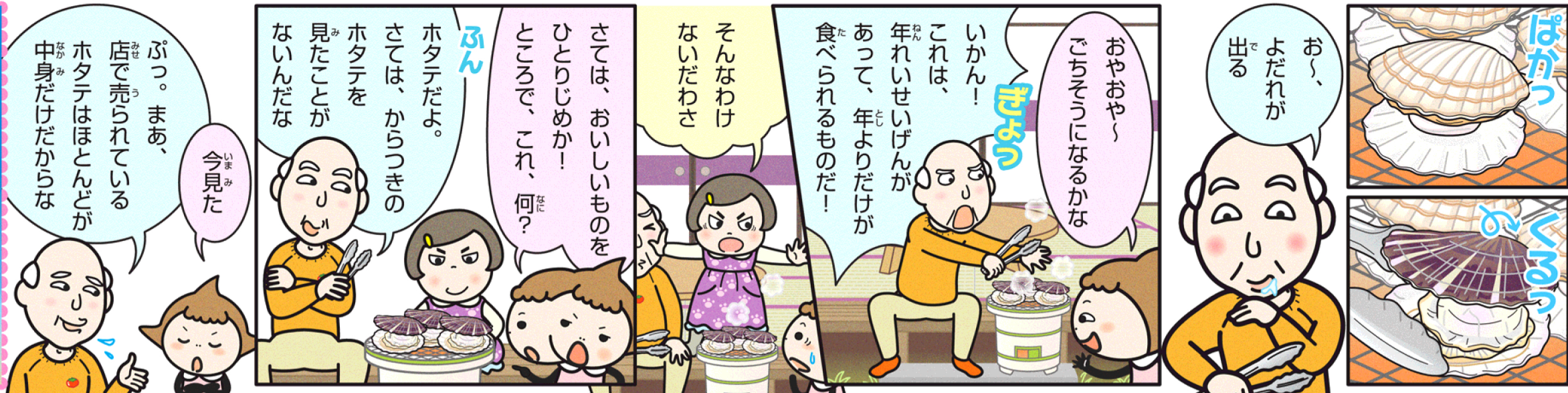
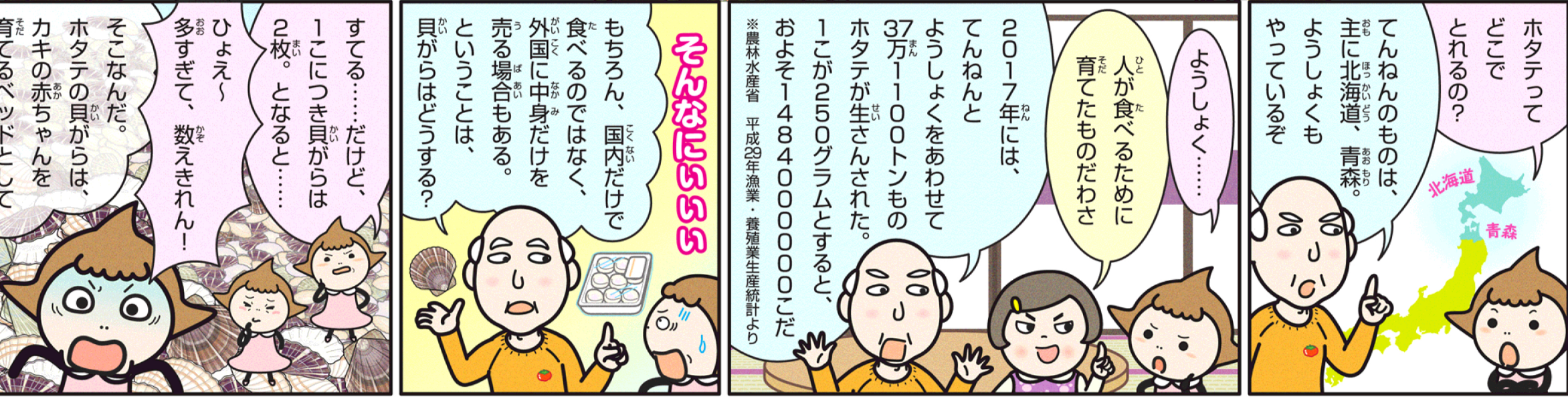


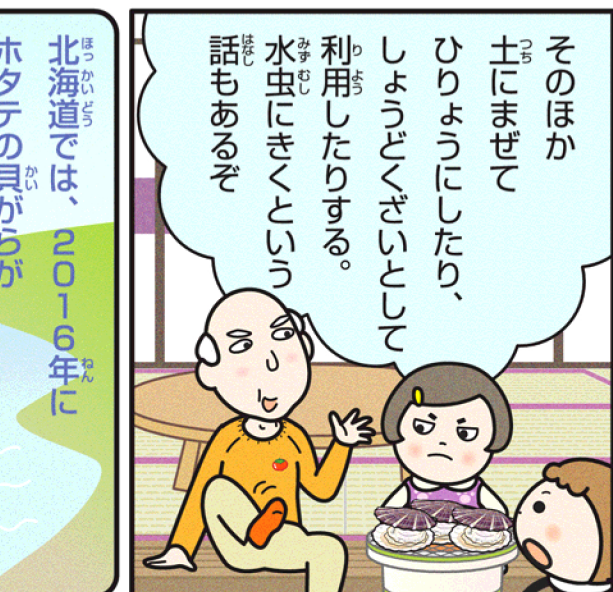
ホタテ (ホタテガイ)
二枚貝。
日本では北の海にいる。
二枚の貝を開けしめし、
海水をふんしゃして動く。
これがまた、けっこう速い!



ホタテってどこでとれるの？
てんねんのものは、
主に北海道、青森、
ようじよくも
やっているぞ
「ようじよく……」
人が食べるために
育てたものだから
2017年には、
てんねんと
ようじよくをあわせて
37万1000トンの
ホタテが生産された。
1こが250グラムとすると、
およそ1484000000こだ
※農林水産省 平成28年漁業・養殖業生産統計より



もちろん、国内だけで
食べるのではなく、
外国に中身だけを
売られる場合もある。
ということは、
貝がらはどうする？
すてる……だけど、
1こにつき貝がらは
2枚。となると……
ひよえ、
多すぎて、数えきれん!
そこなんだ。
ホタテの貝がらは、
カキの赤ちゃんを
育てるベッドとして
利用されている。
それでもたくさんある。
それが山のように
つまれていると、
くさいとかじゃまとか
いろいろと問題になった



たごえは、
チョークだわさ。
おれにくいし、
かきやすく
消しやすいだわさ
そのほか
土にまぜて
ひりょうにしたり、
しようぶくろいとして
利用したりする。
水虫にきくという
話もあるぞ



ちよっとまで。
元もと海にいたんだから、
まとめて海にすてれば、
ダメだ。
貝がらからうまく
はがれなかった身や
貝がらにくっついていた
生き物がくさると
海がよごれる。
なんせ
量が多いからな
じゃあ、
どうするんだよ!
けんきゅうしたけっか、
ホタテの貝がらをくわだいて
こなにしたものを
リサイクルして、
いろいろなせい品が
できるようになった

エゴちゃんのつぶやき
ホタテの貝がら、
よくあらって、
リユース！ (エゴ)

